

令和7年度第1回東大和市文化財専門委員会議
会 議 次 第

日 時：令和8年3月31日（火）
午後1時30分から
場 所：郷土博物館会議室

生涯学習課長あいさつ

委嘱状交付

委員自己紹介

職員紹介

議 題

1. 委員長及び副委員長の選任について

2. 令和7年度文化財保護行政事業について

その他

令和7年度 第1回文化財専門委員会（要旨）

令和8年3月31日（火）午後1時30～2時30分

東大和市立郷土博物館 会議室

出席：藤田委員、松原委員、眞下委員、石井委員、加藤委員、砂田委員 計6名

欠席：宮本委員、永石委員、中藤委員 計3名

事務局：廣瀬生涯学習課長、坂本郷土博物館長、阿部主任、松井主任、梶原学芸員

1 生涯学習課長あいさつ

- ・戦後80年を迎え、変電所が引き続き多くの方々からの関心を得られるよう工夫したい。
- ・R8は吉岡堅二が生誕120年を迎える、文化財行政全般への忌憚なきご意見を。
- ・4月1日付けで生涯学習課長が異動。

2 委嘱状交付

3 委員自己紹介

4 職員紹介

5 議題

1) 委員長及び副委員長の選任

東大和市文化財専門委員の設置に関する条例施行規則第2条第2項の規定により、委員の互選により正副委員長を決定した。

委員長…藤田委員、副委員長…石井委員

2) 文化財保護行政事業

配布資料に沿って事務局の各担当が説明した…里正日誌、はたおり体験、ダンボール教室、文化財めぐり、文化財ボランティア、変電所、ライトアップ、吉岡家住宅、古文書調査、田久保さんの調査、発掘調査・試掘・確認調査、実物資料の紹介（木銃、古文書、爆弾破片など）

（事務局）令和7年度に行った発掘調査で爆弾穴や爆弾の破片が発見された。調査に際して、考古学的価値のあるものが出てくる可能性は低いですが、東大和の歴史における旧日立航空機(株)の空襲に関わる重要な物品等がでてくる可能性が高いことを権利者に説明し、調査に対する理解をしてもらった。また、調査と前後して宮崎空港で不発弾が爆発する事故もあり、戦争の影響がいまだに残っていることを実感した。

6 その他（意見、質問）

- ・（委員）宮鍋家の文書を活字化、里正日誌の次は狭山の杉本家の文書とは思っているが、古文書がどのようにすれば多くの人目に触れることができるのか今後も要検討。
- ・（委員）変電所が新聞で取り上げられた、今後の展望は？→（事務局）戦後80年で注目を浴びた翌年である今年がポイント、来場者の現状維持に努めたい。
- ・（委員）変電所の劣化状況は？→（事務局）目に見える劣化はない、20年後に再度屋上の防水工事が必要との指摘あり。
- ・（委員）黄色い文書が三賢一致書（神仏、儒教、道教）の写しか？全て揃っていただいたい

へん貴重、14 世紀前半の資料と思われる。

・(委員) 旧日立航空機(株)への空襲でできた爆弾穴が発見されたとのこと、私の子ども時代には南街にまだ爆弾穴が残っていて、子供たちはそこで遊んでいた。

・(委員) 清水村の水帳が出てきたようだが、これは実際に使っていたものではなく後から写しをとったものかと思われる。実務で使っていたものであればもっと場所がわかるように書かれているが、これは当時の地元の人間が読めば理解できる程度の最低限の情報しか書かれていない。研究して、当時の畑の様子がもっとわかるとよい。

・(委員) 水帳の名簿の上に墓場や池の上といった単語が見える。これをヒントにもう少しわかるかもしれない。古文書資料はデジタル化してアクセスができるようになるとよい。